

平成30年1月17日
白河市教育委員会
1月定例会会議録

平成30年1月白河市教育委員会定例会会議録

日 時 平成30年1月17日(水)
開 会 午後3時55分
閉 会 午後5時00分

場 所 市役所 全員協議会室

報告事項

- (1) 教育長報告
- (2) 各課等報告

議 事

議案第1号 「白河市社会教育委員の委嘱について」

そ の 他

協議事項 「平成29年度白河市小学校・中学校の卒業式の参列について」

○ 出席委員

教育長 星 浩次 1番委員 金子 英昭
2番委員 鈴木 きよ子 3番委員 小松 裕子
4番委員 永山 均

○ 出席説明員

教 育 次 長	齋藤 稔	教育総務課長	水野谷 茂
学校教育課長	荒川 文雄	スポーツ振興課長	角田 喜一
中央公民館長	双石 正義	図 書 館 長	田中 伸哉
学校給食センター所長	藤田 和宏		
学校教育課主幹兼課長補佐兼指導係長	根本 秀一		
学校教育課主幹兼課長補佐兼管理係長	近藤 明		
学校教育課指導主事	稲川 竜寿	学校教育課指導主事	長田 修一郎

○ 書記

教育総務課課長補佐兼総務係長 宮尾 宏樹 教育総務課副主査 佐々木 奈緒美

【午後 3 時 55 分開会】

- 教育長** これより平成30年白河市教育委員会1月定例会を開会いたします。それでは、ただちに本日の会議を開きます。

日程第2 会期の決定

- 教育長** これより日程に入ります。日程第2、会期の決定ですが、白河市教育委員会会議規則第4条の規定により本日1日間といたします。

日程第3 書記の指名

- 教育長** 次に日程第3、書記の指名を行います。書記には教育長において、宮尾教育総務課課長補佐、佐々木教育総務課副主査を指名します。

日程第4 報告事項

- 教育長** 次に日程第4、報告事項に入ります。

- 教育長** 改めまして、新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。本年も白河市の教育の発展のために、教育委員の皆さまのお力をお借りしながら、教育委員会をしっかりと運営していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。報告の1点目ですが、1月7日に成人式が無事終了いたしました。昨年度と同様の出席率でした。コミネスを会場として2回目の成人式でしたが、出席した新成人たちはマナーも良く、和やかな式となりました。2点目ですが、1月9日から小中学校は第3学期を始業しました。3学期はまとめの学期です。中学校においては高校入試、それから卒業式、新年度準備、人事異動と忙しい学期となります。本日の小中学校校長会では、校長がリーダーシップを発揮し、業務の改善、学校での事故防止、教職員の不祥事防止に努めていただきたいと思いますとお願いました。最後に3点目ですが、インフルエンザが小中学校で流行し始めました。昨年はピークが2月に入ってからでしたが、今年は学校が始まってすぐにピークになり、学年閉鎖になる学校も出てきております。うがい手洗い、換気を徹底し、これ以上の感染を防ぐよう指導していきたいと思えます。以上、3点を報告いたします。

- 教育長** 次に、各課からの報告に入ります。既に、今定例会において報告すべき事項が配付されておりますので、各課からの報告事項については省略いたします。なお、報告事項の内容に補足がありましたら、報告願います。

- 教育総務課長** はい、教育長。先ほど教育長からも話がありましたが、1月7日に成人

式が開催され、教育委員の皆さまにも出席いただきました。今年は白河市全体で行う成人式としては2回目で、コミネスを会場に盛大に開催できました。荒れることもなく粛々と式は進行されました。皆さまには大変お世話になり、ありがとうございます。また、出席率は79.8%と、昨年と同様の出席率となっております。今後も、一生に一度の成人式ですので、盛大に開催していければと思っております。以上です。

○**図書館長** はい、教育長。お手元にお配りしましたチラシですが、いとうひろしさんの講演会がございます。若干ではありますが、まだ整理券が残っておりますので、ぜひご来場いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○**教育総務課長** はい、教育長。白河第二中学校の建設についてですが、本日、基本設計の公募型プロポーザルの公告を行いました。以上です。

○**教育長** これより一般質問に入ります。ただいまの教育長からの報告及びお手元にある報告事項並びに本市の教育行政一般に関し、ご質問をお受けいたします。

○**金子委員** はい、教育長。学校教育課について質問いたします。「教育課程編成協議会」が例年通り行われているようですが、白河市教育委員会としてどのような点を来年度の重点事項として学校へお話しているのか、要点をお聞かせいただければと思います。

○**学校教育課長** はい、教育長。来年度の教育課程は、従来のものに新しい学習指導要領の移行措置を加えまして、白河市学校教育プランに基づいた施策を教育課程に確実に位置づけ、効果的に実施していただくようお願いしております。具体的には、歴史文化教育による郷土愛の育成、読書力を基盤とした学力向上、そして、楽しく学べる教育環境、この点からそれぞれ各学校の今年の教育課程を見直していただき、学習指導要領に基づいた新しい教育課程に対応するようお願いをしております。

○**金子委員** 移行期間になるということですが、今年度までと異なるのはどのような点でしょうか。

○**学校教育課長** はい、教育長。最も大きな点としましては、小学校3年生から6年生で、それぞれ外国語活動の時間が15時間増加いたします。その15時間をどのように確保するかという点ですが、各学校で余剰時間という時間がございますので、それを充てる、あるいは、月曜日を1時間増やして対応する等、学校の実態に応じて、子どもたちの学習に支障がないよう15時間を確保しつつ、余剰時間も確保するようお願いしております。また、道徳が教科化となります。時数は変わりませんが、教科になることによって多様な学習方法を選択できます。それから、評価を行うこととなります。その評価に基づき道徳性を伸ばす指導をするということになっておりまして、具体的には通知表への記入があります。

○金子委員 道徳の教科化についてですが、通知表の様式や学習指導要領は変わるのででしょうか。

○学校教育課長 はい、教育長。まず、指導要録に記入することとなります。それに併せて、その内容を通知表でお知らせするようになります。市内で現在最も道徳の授業が進んでいるのは白河第三小学校でございますが、白河第三小学校でもどのように評価するかという研究が進められており、その成果を市内の各学校に波及させていく予定です。点数化せず、子どもがどのように成長し、道徳性を高めていったかということを文章で記述するということが評価の要点となっております。

○金子委員 ありがとうございました。

○小松委員 はい、教育長。学校教育課の報告事項に、12月22日にコーディネーショントレーニング研修会が開催されたとあります。今回は、かつこして算数・数学、英語とありますが、どのようにこれらの教科と関連させて研修をされたのでしょうか。

○学校教育課長 はい、教育長。コーディネーショントレーニングにつきましては、徳島大学の荒木教授のコーディネーショントレーニングを学校教育課の指導主事が受け継ぎ、市内を回って普及させているところです。コーディネーショントレーニングは、脳と身体をつなげて考えますので、算数・数学、英語といった教科にもアプローチできるトレーニング方法です。算数・数学におきましては、そろばんが計算をするのには最も理想的な教具であると荒木教授は言っております。そろばんは、身体を動かしながら具体的に物を操作し、目で確認できます。ですので、100マス計算や暗記による計算ではなく、あくまで身体を使い、脳を発達させながら行うのが計算であるというお話でした。また、それだけではなく、頭の中に浮かんだイメージを大切にしながら数学を理解していくことが重要であるということでした。それから、英語に関しては、身体性を活かして言葉を獲得していくというお話でした。身体と言葉と脳の発達は関連しているので、身体性を考慮した言語の発達を考えなければならないということでした。最後に、特別支援教育も同様で、脳の発達は、特別支援の点からも身体を動かしながら行うのが効果的だというお話でした。前日には表郷小学校で具体的な事例について、関わり方を指導していただきました。とても充実した2日間となりました。以上です。

○教育長 22日は、「コーディネーショントレーニング研修会（算数・数学、英語）」に続いて、「特別支援教育支援員研修会」にも徳島大学荒木教授を講師としてお招きし、研修会を開催しました。「コーディネーショントレーニング研修会（算数・数学、英語）」は算数・数学、英語の担当教員を対象に行いました。

○**小松委員** はい、教育長。研修された内容は既に授業に取り入れられているのでしょうか。

○**学校教育課長** はい、教育長。研修を受けた先生方には、身体を動かしながら理解させるという点等で取り入れていただいております。

○**小松委員** ありがとうございます。次に、12月26日の「エンジョイイングリッシュ」について伺います。小学校4年生を対象にされたのには何か理由があるのでしょうか。

○**学校教育課長** はい、教育長。対象を小学校4年生にしましたのは、現在の4年生は来年度、5年生になりますと50時間の英語の学習を受けるようになります。今まで5年生の英語の学習時間は35時間でしたので、15時間増えることとなります。ですので、子どもたちの興味関心、意欲を高め、英語にできるだけ多く親しんでもらおうという趣旨で4年生を対象に希望者を募りましたところ、40名が集まりました。40名の子どもたちと市のALTで、ゲームをしたり、とにかく英語の活動を楽しむことを重点に教室を開催しました。以上です。

○**教育長** 今まで、小学校5、6年生が体験型の英語の学習を実施していました。現在の5年生は、来年度6年生になって教科としての英語を受けることとなっても、その前段階がありました。しかし、来年度の5年生は、来年度から初めて教科としての英語を50時間受けることとなります。そこで、ゲーム等で英語に親しむ、英語のハードルを下げるということで「エンジョイイングリッシュ」を開催しました。ぜひ来年度も可能であれば、夏休みや冬休み等、少しずつ機会を増やして開催できればと思っております。

○**小松委員** わかりました。ありがとうございます。以上です。

○**鈴木委員** はい、教育長。英語の授業に関してですが、以前、小野田小学校の研究授業を見学しましたが、その際に10分程度ではありますが、英語の授業を見学しました。子どもたちが生き生きと輝いており、小学校にも英語の授業を得意とする先生がいらっしゃるのだなというのが率直な感想でした。後からお聞きしたところ、小野田小学校の現在の6年生の先生は、外国語の授業に熱心に取り組んでいらっしゃるとのことでした。そのような先生が各学校にもいらっしゃるのではないかと思いますので、頑張ってくださいと思います。

○**学校教育課長** はい、教育長。行事予定に、1月23日「第2回英語教育研修会」とございます。これは、小野田小学校の6年生の担任の先生が英語の授業をなさって、それに対して各学校の外国語の担当者が集まり、研修を積むものでございます。

○**教育長** できるだけ学校の先生方に負担にならないように研修をしていただき、4月から各学校の展開に活かしていただきたいと思っております。

○**鈴木委員** それから、道徳が教科になるということで、先生の指導の質が問われるのではないかと思いました。先ほどお話した研究授業で、道徳の授業も見学させていただきましたが、評価するとなるとなおいっそう難しくなるのではないかと感じました。先生方はこれから大変だろうという気持ちを持っております。

○**教育長** 今までも道徳の時間がありましたので、それが教科の道徳となって大きく変わるわけではないにしても、やはり今までと同様とはいきません。評価につきましても、他の子どもと比較して評価するのではなく、先ほど学校教育長からも説明がありましたが、その子どもが成長、発達していったかという内面の変化を捉えるような評価になりますので、これについても研修会が予定されております。

○**学校教育課長** はい、教育長。各学校に道徳教育推進教師というものが任命されているのですが、その先生方を集めて、2月15日に、白河第三小学校で研修会を実施いたします。白河第三小学校の道徳の授業は、市内で最も先進的な試みをしております。一例をあげますと、道徳の授業の板書は、中央から書き始めます。通常ですと、右側から資料の名前を書き、順に板書していきますが、白河第三小学校の授業では、まず、中央に書き、そこから左右へ様々な考えを板書するような授業をしております。多様な指導法で、教科化に向けて先進的に取り組んでいる学校であります。

○**金子委員** はい、教育長。道徳の授業自体については、急には変わらなくても充実されていくのだろう、先生方が努力されていくのだろうと思います。ですが、教科の評価というと、記憶に留め続けていて1学期の評価を記載するのではないと思います。教科の評価は、記録を取り、それを1学期間まとめて通知表に記入したり、指導要録に記入したりするのだと思います。どうしてこのような成績になったのか、と問われたときに説明できるよう資料を整えておかなければなりません。すると、道徳の評価は数字ではないけれども、教科としての評価になるので、そういった部分が求められてくるのではないかと私は考えます。頭の中で子どもの生活を思い浮かべたり、授業の発言を思い出したりと、自分の頭の中にあるものを文章化して、評価とすることはできるでしょうが、それでは明確な説明はできないと思います。その辺りはどうなのでしょう。

○**学校教育課長** はい、教育長。ご指摘のところは、本当に難しいところだと思います。評価者である担任、あるいは指導者である担任が子どもをしっかり捉え、現在伸ばしていきたい道徳性は何かというものが前提になれば、授業を行ってもそれだけで終わってしまいます。先ほど金子委員からもございましたが、普段の子どもに対する見

方、そして授業を行った結果、どのようなことが変わったのか、成長が見られたのかを見抜く目と記録、そういうものがこれから求められてくると思います。ただでさえ先生方は多忙ですので、それを効率的に行うためには、やはり先ほども申し上げましたが、その子どもの良さを捉えた上で、ある点を伸ばしたという先生の思いがあり、その思いを基に子どもを見ていくという形になるかと私個人としては思います。なお、その辺りも含めて、研修会等で先生方に研修していただき、広めていくよう考えております。

○**金子委員** 4月から使用される道徳の教科書には、付随する道徳のノートはなかったかと思しますので、必要な時には教育委員会としてアドバイスをしていただいた方がよいのではないかと思います。

○**教育長** 今回の教科書選定においては、ノートがあるとそれに縛られてしまうという意見がありましたので、あえて教科書に付随したノートがない教科書を選定しました。ノートは自分たちで作らせる方が評価にも役立つことが出来るということで、そのような結果となりました。

○**鈴木委員** はい、教育長。もう1点、伺います。大信公民館の報告事項に伝統継承事業として「団子さし体験」を行ったとありますが、どなたが指導されているのでしょうか。

○**中央公民館長** はい、教育長。伝統継承事業は公民館で学校に出向き行っているものですが、どなたかということまでは把握しておりませんでしたので、次回までに調べて報告いたします。

○**永山委員** はい、教育長。まず、成人式ですが、出席させていただきありがとうございました。参加者の人数、出席率ともに昨年とほぼ同様かと思えます。保護者が昨年思っていたよりも少なかったという印象がありましたが、今年は保護者席もかなり埋まっていたようでした。昨年は初めてコミネスで開催されたということもあって、保護者も参加して良いのかどうかわからなかったり、遠慮している部分があったりしたのではないかという話を昨年させていただいたのですが、今年は保護者の方も多く参加され、式自体も粛々と進み、良い式であったと感じました。次に、来年度の英語の授業についてお聞きします。英語の授業は、いつの時点でどの先生が指導すると決定されるのでしょうか。

○**学校教育課長** はい、教育長。まず、外国語教育については、小学校3年生から6年生までの担任が行うことが基本となっております。ただ、ALTや日本人の非常勤講師がおりますので、できるだけ先生方を支えていきたいと考えております。

○**永山委員** 4月の人事異動が確定しないと担任の先生も決定されないでしょうから、教える側としても4月にならなければわからないということですね。それから、今年度から小学校の教科担任制を試験的に実施するということでしたが、実施した結果、来年度も同様に試験的に実施されるのでしょうか。もし実施されるのであれば、英語もそこに含めるような考えがあるのかどうかお聞きします。

○**学校教育課長** はい、教育長。みさか小学校と白河第二中学校、協力校として同じ校区である白河第二小学校、この3校が「学びのスタンダード」という県の指定を受け、取り組んでおります。これは、3年間の指定を受けております。その中で、みさか小学校において、教科担任制を小学校5、6年生の理科の授業で取り入れております。また、来年度も実施していく予定です。それ以外にも、小学校5、6年生を中心に教科担任の先生が教えるということで教育課程の準備を進めておりますので、教育委員会としても最大限の支援をした上で、この取り組みを他の学校にも波及させていきたいと思っております。

○**永山委員** 3年間の指定ということですが、3年間実施した後に、その評価を踏まえた上で今後の方針を判断するということでしょうか。

○**学校教育課長** はい、教育長。3年を待たずとしても効果が現れた事柄については、他の学校にお知らせし、取り組める部分は取り組んでいただくのが一番だと考えております。

○**永山委員** これは、県の指定がなければ勝手にはできないものなのでしょうか。

○**学校教育課長** はい、教育長。県の指定を受けておりますので、その分、県から教員が配置されたり、実施しやすいところがあります。ですので、そういった点では指定を受けてからでしかできないこともあります。ただ、教科担任制にだけ目が行きやすいのですが、現在、みさか小学校では、普段の授業について、「授業スタンダード」という県の教育委員会を出している授業の手引きがあるのですが、それに基づき、ある一定レベル以上の授業を全担任がしようという取り組みをしております。「授業スタンダード」を使用した授業については、学校教育課の指導主事から各学校に現段階でもお願いしております。以上です。

○**永山委員** わかりました。以上です。

○**教育長** それでは、これにて一般質問を終了いたします。

日程第5 議事

- 教育長** 次に日程第5、議事に入ります。議事といたしまして、議案第1号「白河市社会教育委員の委嘱について」を議題とします。それでは、内容の説明を求めます。
- 教育総務課長** はい、教育長。議案書の1ページをご覧ください。議案第1号白河市社会教育委員の委嘱について、社会教育法第15条及び白河市社会教育委員に関する条例により、次のとおり委嘱します。上から順に、木村真一様は留任となります。祓川勉様は新任となります。続きまして入谷みちこ様は留任となります。金子善弥様は新任となります。今野登志子様は留任となります。中島功様も留任です。鈴木雅文様、留任です。続きまして、樋口あけみ様は新任となります。続きまして、添田春美様も新任です。最後になりますが、松本美津江様は留任となります。任期は、平成30年2月1日から平成32年1月31日まで、発令年月日は平成30年2月1日の予定となっております。以上、提出いたします。
- 教育長** それでは、これより質疑に入ります。ただいまの説明に対し、質疑をお受けいたします。
- 金子委員** はい、教育長。任期ですが、年度初めから終わりではなく、2月からとなっているのには何か理由があるのでしょうか。
- 教育総務課長** はい、教育長。手元に資料がなく明確に答えられませんので、後ほど調べて回答したいと思います。
- 永山委員** はい、教育長。おそらく合併したことが関連しているのではないのでしょうか。私と鈴木委員が合併後最初の社会教育委員だったのですが、始まった時期が2月頃であったのではないかと思います。
- 教育次長** はい、教育長。平成17年11月7日が合併日です。基本的に白河市はその日から新市ということになっておりますので、全ての組織についてはそれ以降に新しく作られたものという形になっております。先ほどの永山委員のお話の通り、元々各市村で持っていた同じような委員があり、それを合併後にまとめて新しい形にしているというのは事実ですが、確認し、次回、回答したいと思います。
- 教育長** これにて質疑を終了いたします。これより採決に入ります。議案第1号は原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

【異議なしの声あり】

○**教育長** ご異議なしと認めます。よって本案は原案のとおり可決されました。

日程第6 その他

○**教育長** 次に日程第6、その他に入ります。協議事項といたしまして、「平成29年度白河市小学校・中学校の卒業式の参列について」を議題といたします。内容の説明を求めます。

○**学校教育課長** はい、教育長。資料をご覧ください。まず、参列者ですが、ご覧の通り、教育長、教育委員、教育委員会事務局職員です。告辞ですが、来賓祝辞より前に行います。席順につきましては、ご覧の通りの席順となっております。市長・副市長が参列する場合は、市長・副市長が先頭となります。祝辞を述べる順番ですが、教育委員会が最初となります。それから、告辞者の紹介ですが、「教育委員会告辞」とアナウンスし、来賓並びに教育委員会紹介の際に出席者ご本人の正式役職名を紹介いたします。教育委員であれば、例1のように紹介されます。次のページをご覧ください。教育委員の紹介ですが、先ほど申し上げましたように、来賓の次となります。案内状、卒業式要項に掲載する祝辞文についてはご覧の通りです。また、告辞は教育委員会として行いますので、代読ではございません。これは例年通りでございます。それから、3ページの告辞者用の確認事項にうつります。参列者の服装ですが、礼服でお願いしたいと思います。告辞分は1週間前までに学校教育課が作成し、告辞者にお届けします。告辞文の読みあげ方についてはご覧の通りです。告辞を読み上げる前に自己紹介をしてください。文面通り最後まで読み上げてください。最後は全て「白河市教育委員会」となります。読み終わったら、告辞文は、演壇の上にある盆に置いて降壇してください。学校への交通手段ですが、自家用車で学校へ向かっていただくようになります。よろしく願いいたします。最後のページですが、平成29年度卒業式参列者一覧の案を掲載しました。このような形で出席をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。以上です。

○**教育長** ただいまの説明に対し、ご意見などがございましたらお受けいたします。

○**金子委員** はい、教育長。昨年度初めて参列したのですが、市からの記念品贈呈の際に、私が登壇しなければならないのか戸惑ってしまいました。ですので、記念品贈呈についても記載してもらえないでしょうか。

○**学校教育課長** はい、教育長。市長部局からも参列しますので、昨年度私が参列しました学校では副市長が登壇しました。

○**教育長** 市からの記念品贈呈は誰が行うのか、統一させた方が良いですね。

- 学校教育課長** はい、教育長。確認の上、報告いたします。
- 永山委員** はい、教育長。席順と祝辞等を述べる順番については、学校にも文書で通知されているのでしょうか。
- 学校教育課長** はい、教育長。本日校長会があったのですが、校長会の際に同じ資料を配り、担当の方から説明しました。
- 永山委員** 昨年度、私が参列した学校では少し順番が違っていたので、お聞きしました。ありがとうございました。
- 学校教育課長** はい、教育長。昨年度も同様に学校には説明しております。
- 教育長** 念のため、各学校に式次第と席次の確認を行いましょう。
- 鈴木委員** はい、教育長。参列する学校のローテーション表のようなものはあるのでしょうか。
- 学校教育課長** はい、教育長。ローテーション表はありますが、調整をする場合がございます。
- 鈴木委員** わかりました。
- 教育総務課長** はい、教育長。関連してですが、「公立幼稚園入園式・卒園式参列予定表」という資料がお手元に配られていると思います。こども支援課から教育委員会の方に合議がありまして、現在の予定では、ご覧のような割振りとなっております。こちらでもローテーションで組んだものです。ただ、3月16日は市議会の最終日となっております。教育長の代わりに教育次長が参列する予定となっております。なお、教育委員の皆さまも、どなたか市議会へ出席いただきますので、定例会終了後にお話し合いいただければと思います。以上です。
- 永山委員** はい、教育長。割振り表ですが、私は今回初めていただきました。以前に、参列する幼稚園が分からず、こちらからどの幼稚園に行けば良いのかと電話したこともありましたので、このような表があるととても助かります。今後ともよろしく願いいたします。
- 教育長** ありがとうございました。その他、何かございませんか。
- 図書館長** はい、教育長。前回、白河市に読み聞かせ団体がどのくらいあるのかという

ご質問を受けていたようですので、回答いたします。白河市には6団体ございます。大信で活動されている団体は、矢吹町の団体が1つとなっております。表郷では「つくしの会」という移動文庫を行っている団体が、東では「どんぐりの会」が活動されております。それから「しらかわ語りの会」「白河手づくり絵本の会」、そして「おはなしのくに」という団体が活動されております。また、実行委員会として、「びゃっこい村手づくり絵本実行委員会」がございます。

○**金子委員** 私が前回質問いたしました。ありがとうございました。

○**教育次長** はい、教育長。2月2日ですが、表郷中学校でプロジェクションマッピングが実施されます。生徒と保護者の方を対象に中学校の校舎にプロジェクションマッピングを映し出すということですので、ご承知いただければと思います。それから、2月4日に、中山義秀文学賞受賞の贈呈式と記念講演会が新自信ビルで開催されます。ぜひご参加いただければと思いますので、よろしく願いいたします。以上です。

○**教育長** それでは、以上をもちまして白河市教育委員会1月定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

【午後5時00分閉会】

以上の記録が正確なことを認め、ここに署名する。

平成30年2月21日

教 育 長

1 番 委 員

2 番 委 員

3 番 委 員

4 番 委 員